

1 研修に応募した理由

今後の社会において必要になっていくのは、AI を上手に活用できたり、コミュニケーション能力が高かったり、グローバルに活躍できたりする力だと思います。オーストラリア研修では、英語を使って現地の人と交流したり、文化の違いを学んだりすることができます。そうした経験は、これからの社会で大切な力を身につけるのに役立つと考えたので応募しました。



2 ホストファミリーおよびホームステイについて

オーストラリア研修でのホームステイでは、事前の説明では「シャワーは10分以内」と聞いていましたが、僕のホストファミリーは寛容で、時間の制限は特にありませんでした。また、ベッドの上で食事をするため禁止されていたり、トイレのふたを開けたままにしておくと下水道からヘビが上がってきて家に侵入する可能性があるため、必ず閉めるように言われたりと、日本ではあまり聞かないルールもあり、文化の違いを感じました。



3 研修中に困ったことや苦労したこと

オーストラリアでのホームステイ中に困ったことが2つありました。

1 つ目は、自分の言いたいことを英語でうまく表現できなかったことです。単語や文法がすぐに思い浮かばず、会話に困ることもありました。そんなときは、一緒にホームステイをしていた友達に聞いたり、Google 翻訳を使ったりしてなんとか乗り越えました。

2 つ目は、現地の人の英語が速かったり、発音がつながったりして聞き取りが難しかったことです。どうしてもわからないときは、相手にスマートフォンで文字を打ってもらい、Google 翻訳で意味を確認しました。身ぶり手ぶりでもある程度は伝えられましたが、正確に理解するには Google 翻訳の方が効率的だったので、そちらをよく使っていました。こうした体験を通して、自分の英語力の課題や、伝えようとする気持ちの大切さを実感しました。

4 研修で印象に残ったこと

研修で特に印象に残ったことの一つは、オーストラリアでは高速道路でなくても、制限速度が時速 100～110 キロととても速いことでした。日本ではそんなスピードを出すのは高速道路だけなので、とても驚きました。また、シートベルトに関するルールも厳しく、もし着用していなかった場合はおよそ 10 万円もの罰金が科せられると知りました。実際に車に乗るときも、ホストファミリーが「必ずシートベルトを締めてね」と何度も確認してくれたのが印象的でした。交通ルールが日本とは大きく違って、安全への意識の高さを感じました。





5 研修で学んだこと

オーストラリア研修を通して、言語が違っていると、お互いの気持ちや考えを伝え合うことが思っていた以上に難しいと実感しました。英語で何かを言いたいとき、すぐに単語が出てこなかったり、文の作り方がわからなかったりして、言葉に詰まってしまうことがよくありました。そのたびに Google 翻訳を使って対応していましたが、いちいち調べていると時間がかかってしまい、会話のテンポも悪くなってしまいました。

この経験から、相手とスムーズにやりとりするためには、英語の知識だけでなく、「とっさに話す力」や「気持ちをシンプルな言葉で伝える工夫」がとても大切だと学びま

した。うまく伝えられなかった悔しさもありましたが、それが今後の英語学習のやる気につながっています。

6 まとめ

今回のオーストラリア研修では、実際に海外の生活や文化に触れ、学校の授業だけでは学べない多くのことを体験することができました。

ホームステイ先では、事前に聞いていたルールと違うこともあり、シャワーの時間に制限がなかったり、トイレのふたを必ず閉めるように言われたりと、文化や生活習慣の違いを強く感じました。また、現地の人の英語は速くて聞き取りが難しく、単語や文法がすぐに思い浮かばないことも多くありました。そうしたときには Google 翻訳や友達の助けを借りながら、なんとかコミュニケーションを取ることができました。



特に印象に残って

いるのは、普通の道路でも車が時速 100～110 キロで走ることが当たり前だったことです。そして、シートベルトをしていないと約 10 万円の罰金になると聞き、安全意識の高さに驚きました。

この研修を通して、言語が違くとわかり合うことが難しくなるという現実を体感しました。翻訳アプリは便利ですが、毎回使っていると時間がかかり、会話のテンポが悪くなってしまいます。だからこそ、これからはもっと自分の力で英語を話せるようになりたいと思います。

今回の体験は、英語の大切さだけでなく、違う文化を受け入れ、相手を理解しようとする姿勢の大切さも教えてくれました。この経験をこれからの学びや人生にいかしていきたいです。

1 研修に応募した理由

以前から海外留学に興味があり、真庭市からの金銭面での援助や現地で働く日本人医師の話の聞くことができるということを知ったからです。

2 ホストファミリーおよびホームステイについて

日本とは言葉も生活様式も全く違って、慣れるのが少し大変でしたが、明るくて優しいホストマザーと一緒に泊まった友達のおかげでとても楽しく生活できました。



3 研修中に困ったことや苦勞したこと

現地の人々はみんな話すのがとても速くて聞き取れないことがたくさんありましたが、分かったふりをせずに聞き直したりゆっくり話したりするようにお願いしたら快く受け入れてもらえて、コミュニケーションがとりやすくなりました。

4 研修で印象に残ったこと

休日、ホストマザーにサーファーズパラダイスに連れて行ってもらったことが印象に残りました。冬なのに海に入れたことやたくさんの人がいて、サーフィンをしている人もいてとても新鮮でした。海水の色や砂浜の質感が日本と全く違ってきれいでした。



5 研修で学んだこと

この研修を通して、英語でのコミュニケーション能力を高めることができました。また、オーストラリアと日本の医療制度の違いについても知ることができました。



6 まとめ

この研修で得たコミュニケーション能力や学んだオーストラリアと日本の医療制度の違いを受験で活かしたいと思います。海外研修は思った以上に体が疲れるので体調管理をしっかりすることが本当に大事です。

1 研修に応募した理由

私がこの研修に応募した理由は自分の世界を広げたいと思ったからです。私は将来高校の社会科の教師になることを目指していますが、自分はまだ知らないことや経験していないことが多くあると感じています。日本の外に出て異なる生活や文化に触れることで今まで経験したことのない素晴らしい体験ができると思いました。この研修を通して自分の視野を広げる一歩を踏み出したいと思いました。

2 ホストファミリーおよびホームステイについて

私がお世話になったホストファミリーはとても優しい方々でした。特に印象に残っているのはホストファミリーの子供と関わったことです。子供の英語は大人と比べるとまだ少し聞き取りやすく、今までに聞いたことのなかった単語なども出てくるので自分の成長にもつながりました。

またホストファミリーは今までにたくさんの国を訪れている方で、日本にもたくさん興味を持ってくれる方でした。その中でホストファミリーに日本語を教えてその場で使っていたりする姿はとても嬉しかったです。

3 研修中に困ったことや苦労したこと

はじめは簡単な英語がまったく聞き取れなく自分の英語力のなさを痛感しました。喋るスピードも速すぎて単語すらまともに聞き取ることができませんでした。一番初めに言語の壁にぶつかりました。





4 研修で印象に残ったこと

最初英語が聞き取れず、自信もなかった自分が少しずつ殻を破ってホストファミリーの方々に話しかけに行き、お手伝いをするような行動ができるようになっていくのがとても嬉しかったし、会話をするのが毎日楽しみになっていました。

5 研修で学んだこと

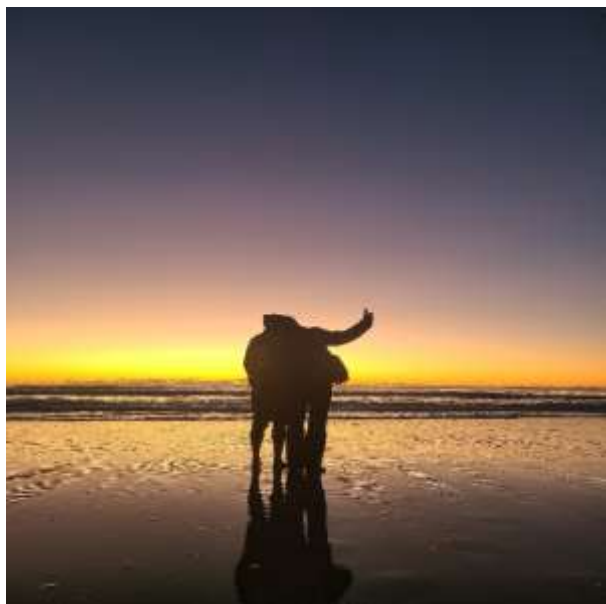
私は 2 週間オーストラリアに留学して改めて自分の英語力のなさを実感しましたが、それとともにどうやって伝えようか、またどういうことをしたら英語が少しでもわかるようになるか、聞き取れるようになるかなど多くのことを考えた 2 週間になりました。ホストファミリーに初めて会って車で会話をした時、私は何を言っているのかまったく聞き取る事ができませんでした。How old are you?と尋ねられ、私は初歩的な質問でありとても簡単なのにまったく聞き取ることができずどうすればいいか全くわかりませんでした。僕のペアはアメリカ留学経験者でありとても英語ができた人なので、こういうことを言ってるんだよと翻訳してくれて初めて内容が理解できました。その時に今までに経験したことのない焦りと不安を感じました。授業で聞いていた英語とは違って全部の音がつながっていて、話すのもとても速く、最初は単語すら聞き取ることができませんでした。ペアがとても英語ができるので食事中もペアだけがホストファミリーと会話をして僕だけ黙っていることが 2 日ほど続きました。しかし 2 日くらい経った頃から会話中の単語が少しだけ聞き取れる様になって、少しだけ会話ができるようになりました。私はホストファミリーとペアが会話した内容を自分で小さい声で自分なりに言ってみてそれで単語などを聞き取るようにしていました。3日目、4日目くらいになって、喋ることができない不安や焦りよりも自分たちが手伝いなどをせずに至れり尽くせりしてもらっていることや、あまり会話もせずにご飯を食べたら自室に戻る行動に不安を感じました。僕は英語がまったくできないので英語ができるペアがとても救いになった一方で、ペアと同じ行動をすれば大丈夫だろうという良くない考えもありました。ペアが自室に戻ったから僕も戻るみたいなことを3日目、4日目はしていました。しかしこれでは絶対に良くないと感じて英語が聞き取れなかったり、話せなくても、もっと話しかけたり手伝いをしようと思いました。What is for dinner tonight? や May I help you? など簡単だが大事なことを聞いたり話したりするように心がけました。その時にはもう英語力がないことへの不安などはほとんどなくなっていました。4日目くら



いになるとホストファミリーの子供と仲良くなり始めて、子供と関わる上でも新しい単語を学ぶ事ができ、自分から歩み寄ることが大切だと思いました。はじめ子供は僕に対してとても恥ずかしそうにしていた、あまり近寄ってこようともしませんでした。ホストファミリーに **May I help you?** と尋ねたときに今は特にないから子供たちとしっかり遊んでと言われました。だから少し怖かったけど勇気を出してサッカーをしました。そこからホストファミリーの子たちと仲良くなってトランポリンをしたり、おんぶをしたりしました。子供の英語は単語が理解できないことはあるが、内容はわかりやすく少し話しやすいので自分の自信にもつながりました。私は今まで海外に行った経験がなく、海外に行きたいともあまり思いませんでした。しかし今回の留学経験でその気持は大きく変わりました。ホストファミリーの方々は今までに多くの外国に訪れたことがあるらしく、その話を聞いて羨ましいと思いました。また **What does “cute” mean in Japanese?**と聞かれるなど日本語の話をすることがとても楽しかったです。6日目のときに私達はホストファミリーとその弟家族や姉家族とBBQをしました。その時にもオーストラリアの伝統的なデザートである「ラミネトン」を教えてくれたりしました。その中でご飯を食べているときに家族で難しい話をしていました。私は少ししか聞き取ることができませんでしたが、姉の家族が元々アフリカに住んでいたけど、今アフリカは黒人と白人の差別が激しく危険な状態なのでオーストラリアに帰ってきたという話をしていました。そんな苦しい状況にも関わらず姉家族はとても優しくしてくれて、とても温かさを感じました。ここまで留学が楽しいと思えたのはホストファミリーのおかげです。私は英語力が低いのに関わらず、意図をくみ取ってくれたり、ゆっくり話してくれたりしたホストファミリーの方々に感謝しかありません。だからこそ、私はもっと英語を話せるようになりたいし、英語がしっかりできるようになってもう一度ホストファミリーに会いたいなと心から思いました。また英語ができなくてもホストファミリーは言いたいことを理解してくれるし、話が聞き取れなくても顔の表情などから読み取れることもあるので、しっかり色んなことにどんどん挑戦することがとても大切だと分かりました。ホストファミリーとだけでなく地域の学校の生徒と関わる時間があり、それとても重要な時間だと思いました。話がわからなくても共通の趣味や漫画やアニメで話を広げることができ、生徒たちも私達に興味をもって色んな質問をしてきたり翻訳機を使って教えてくれたりしたので、嬉しかったし自分の自信にもつながりました。

6 まとめ

この研修を通していろんなことに挑戦することが大事だと思いました。私自身英語が全くできなくて、特にリスニングなどはとても苦手です。実際に参加してみると聞き取れないものの、相手の表情や話し方などで内容を理解できることもあるので、英語ができないからといって参加しないというのはとてももったいないと思います。少しでも英語の能力があるとか、興味がある方はどんどん参加してみたらいいと思います。とても良い経験になると思います。



1 研修に応募した理由

まだ将来の進路が具体的に決まっておらず、普段とは全く違った環境で自分の将来の進路について考える機会が欲しかったからです。また、私は商学や観光学に興味を持っていてオーストラリアは商学の面では他国との貿易も盛んで日本との経済的なつながりも強く、観光はオーストラリアの重要な産業になっていることから自分に適していると思ったからです。

2 ホストファミリーおよびホームステイについて

最初は英語での会話や文化の違いに不安がありましたが、ホストファミリーはとても優しく迎えてくれました。食事の時や空いた時間にはその日に起こったことや日本のことなどについて話すことが多く、自然と英語に慣れることができましたと思います。週末には一緒に観光地を訪れたりして家族の一員のように接してくれたりしたのが嬉しかったです。ホストファミリーとの交流を通して異なる文化を理解しようとする姿勢の大切さを学ぶことができたし、何よりとても楽しかったです。短い間でしたがホストファミリーとの思い出は一生忘れられないものになりました。



3 研修中に困ったことや苦勞したこと

研修中に一番困ったことはやはり英語でのコミュニケーションでした。到着してすぐはホストファミリーや現地の人の話す英語はとても速く感じたことを覚えています。また、自分の思っていることを伝えられず、何度も言い直したり言葉に詰まったりしてしまいました。しかし、そのようなときにはジェスチャーを使ったり伝えたい言葉の単語だけでも言ったりすることで、少しずつコミュニケーションをとっていきました。向こうの方たちは言葉に詰まっているときでも親切に最後まで話を聞いてくれたりしたので、徐々に自信を持って話せるようになりました。



4 研修で印象に残ったこと

最も印象に残ったことは現地の学校での授業体験です。日本とは違い、生徒が積極的に自分の意見を述べ、先生とのやり取りもフレンドリーな雰囲気で行われていたことに驚きました。学校を一緒に回るバディーがサポートしてくれ、現地の子たちとも休み時間などに会話することができて楽しかったです。現地の子たちは日本のことにとても興味を持っていて日本の話をたくさんしたことも印象に残っています。



5 研修で学んだこと

今回のオーストラリア研修を通じて、言語の力だけでなく人とのつながりの大切さを学びました。英語を完璧に話すことができなくても、相手の話をしっかりと聞き、自分の思いを伝えようとする気持ちがあればコミュニケーションは成立することを実感しました。また、文化の違いを知ることで自分の価値観を見つめ直すいい機会にもなりました。現地の方たちのオープンでフレンドリーな姿勢から積極的に関わる姿勢の大切さを学びました。困ったときに助けてくれたホストファミリーやバディーとの交流を通じて、人に頼ることや感謝の気持ちを持つことの大切さも感じました。

6 まとめ

今回の研修で得た一番の学びは、勇気を出して一步踏み出すことの大切さです。初めての海外、初めてのホームステイなど初めてのことだらけで不安や緊張がありましたが、自分から挨拶をしてみる、笑顔で話しかけてみる、そんな小さな一歩のお陰で成長できたと思います。この経験からこれからも新しいことに対して一步踏み出す勇気を持ち続けたいと思いました。そして成長できるチャンスを自分から掴んでいこうと思います。



1 研修に応募した理由

今まで学校で習ってきた英語を使う仕事（具体的にはキャビンアテンダント）に就きたいと思っているためです。また、留学に興味があったため。日本の外に出て日本とオーストラリアの違い、似ていること、改めて日本の良い所を見つけないかと思ったためでもあります。



2 ホストファミリーおよびホームステイについて

父母娘 2 人の家で過ごして、同年代のホストシスターとゲームしたり散歩したり、ポップコーンを食べながら映画を見たりして、実際の家族のように接してくれました。ホストマザーは明るく元気な人で、自分が英語を聞き取れなかった時、ゆっくり話してくれたり言い換えて話してくれたりしたことが嬉しかったです。課題で出された英語の問題で分からない単語があれば、意味を優しく教えてくれました。ホストマザーが作るご飯は美味しくてホームステイ中残したことはありませんでした。私がピザを好きなことから、休日にたくさんのピザを用意してくれてピザパーティーをしました。

3 研修中に困ったことや苦労したこと

来たばかりのときにホストシスターとあまり話ができなかったことです。今何の宿題しているのか、好きな教科は何かを質問して会話を広げていきました。



4 研修で印象に残ったこと

【嬉しかったこと】

バディーの子と英語で会話ができるか不安でしたが、自分からバディーへの質問やその授業でどんなことをするのかをしっかりと聞けました。その中で好きなアーティストと一緒にいることが分かって、どんどん会話がはずみました。登下校の車の中では近い距離で話ができるので、その時間を有効に使うと意識してホストマザーと話しました。ホストシスターが私にゲームしようと誘ってくれて楽しく遊べました。散歩のついでに近くのドーナツ屋に寄って甘いドーナツを食べたりもしました。

【驚いたこと】

近くの公園に行ったとき、オウムが空を飛んでいたこと。(日本では野生のオウムがいないから。) オーストラリアは1月に新学年になって12月に修了すること。(ホストマザーから聞いた話) 高校の卒業式のあとに、卒業生全員が集まってドレスやスーツを着てパーティーをすること。(ホストマザーから聞いた話) ホストファミリーの家にキャンピングカーとプールがあったこと。



5 研修で学んだこと

高校でしっかり英語を勉強していても、実際に現地に行って会話をするとなかなかそれを使うことがなかったり、発音やアクセントが正しくないせいで通じなかったりしたので、日本の英語教育は書くことを中心にするのをやめて、スピーキングや英会話をもっと増やすべきだと思いました。日本人の英語が上手くならないのは、テストに合格するための難しい英語を習うからであって、これからのグローバルな世界では書くこと中心でなく、話すこと中心に切り替えるべきだと思いました。もっと海外に出て日本が海外を見習うほうが良いところを発見したいと思いました。日本人は完璧主義が多いから「英語を完璧に喋れない自分は喋らない」と思っている人が多くいると思いますが、単語が並んでいるだけでも同じ人間だから何となく言いたいことが伝わると思うので、海外に滞在して他の言語を話すことは大事だと思いました。



6 まとめ

世界は学校や日本だけではない。上手くいかなかったり、できなかったりして落ち込んだときにこの言葉を思い出そうと思いました。マインドの面で刺激をたくさん受けたので、ポジティブ思考をどんどん続けていこうと思いました。

英語が完璧じゃなくても行くべき！楽しそうだなと思っただけでも行ったほうが良いと思いあます。他校のメンバーとも仲良くなれて楽しいから帰国したあと、行ってよかったと思うはず！

1 研修に応募した理由

中学生の頃から英語が好きで、できれば高校在学中に留学をしたいと考えていたからです。

2 ホストファミリーおよびホームステイについて

ホストファミリーの家には、子育てを終えたホストマザーと、そのホストマザーと家族関係にない同居人の男性がいました。最初は事実婚かと思っていましたがそうでもなく、シェアハウスのような関係で驚きましたが、どちらも優しくて会話をするのもとても楽しかったです。また、ホストマザーの娘さんとお孫さんが20分ほど離れたところに住んでおり、家に来てくれたり、向こうの家にも行ったりしました。6歳のお孫さんのゼイビアくんがたくさん遊びました。とても元気で可愛かったです。シャワーは10分までという決まりくらいしかなく、あとはかなり自由にさせてもらえました。朝ごはんにはコーンフレークや、日本では食べたことのないスティック状のパイ生地のもの、オーストラリアで人気の豆を載せたパン、ベジマイトを塗ったパン（これは苦手だった）を食べて、日本ではサラダを食べると言ったらとても驚いていました。土曜日は仕事について行ったり、その後にたくさんの場所に行ったりしました。ゴールドコーストのサーファーズパラダイスでお土産を買ったり、タンボリンマウンテンに行くととてもきれいな景色を見たりしました。帰りがけにアップルティーを飲んで帰りました。家には犬がいて、ご飯を食べるときにいつも膝の上に顔を載せてくるのがとても可愛かったです。夜寝る前にホストファミリーとソファに座って会話するのが楽しかったです。ユーチューブで、オーストラリアのスラングや動物についての動画を一緒に見て、オーストラリアの犬の映画「Red Dog」を見ました。また、アクティビティの写真や日本の写真を見せることもありました。また、ホストファミリーがたくさんの外国に旅をしている人だったので、旅の話を聞いたり、写真を見せてもらったりしました。日本に来年来るということで、日本の話もしました。英語での会話は難しく、更にアクセントも大きく異なるので、高校でALTの先生と話すのとは全く違って難しかったし、伝えられないこともたくさんありました。それでも本当に楽しく幸せな時間が過ごせたと強く感じていて、ホームステイが経験できて本当に良かったです。



3 研修中に困ったことや苦勞したこと

習っているアメリカ英語とは違うオーストラリアのアクセントの聞き取りは本当に苦戦しました。また、こちらが日本訛りでアメリカ寄りの英語を使っても聞き取ってもらえるだろうと思っていったがなかなか聞き取ってもらえず、何度も聞き返されました。最初は翻訳機を使うことに抵抗があり、全く使っていませんでしたが、伝えたいことが伝えられないことは良くないし、翻訳機を使うことで新しい語彙の使い方や文の作り方を発見できて伝えなくても伝わらないときは翻訳機を使って会話をしました。それで良かったと思いますし、使わないよりも成長できて翻訳機との付き合い方を学ぶ機会にもなりました。また、財布をなくしてとても困りました。カードも現金も大丈夫だろうと思って同じものに入れていたため、なくしたことに気がついたときには本当に不安でした。ホストファミリーやルームメイトがそばにいて安心させてくれたため、パニックになりすぎず対処をしました。1人だったら無理だったと思います。また、料理を食べるときに日本では最初から小さく切ってあって、ナイフがなくても食べられますが、オーストラリアでは大体そのまま出てきてナイフとフォークを使って食べなければならず、カトラリーの使い方がなかなか難しく毎食苦勞しました。ホストファミリーや器用なルームメイトに教えてもらいながら上達を図りましたが、やはり難しく練習あるのみだと思いました。

4 研修で印象に残ったこと

違いを探そうとしたけど、制服があることや車のハンドルの位置等似ていることの方がたくさんあったこと。鳥や木がすべて違うこと。現地校でイスラム教のバディから、宗教について教えてもらったこと。人々は優しい。毎日シャワーを浴びない、タオルを変えない。現地校の授業スタイル、いろいろな年齢の人たちが同じクラスで授業を受ける。心理学的な授業もある。数学がクイズみたい。席が自由、男女関係なく発言をする。クッカパラの鳴き声。大学のきれいさや設備。プレゼン発表で翻訳をほぼ使わずに原稿を作成して発表できて、それが現地の教授に褒めてもらえて1位をもらえたこと。子供と話すときに簡単な言葉でいいからスムーズに英語が出てきたこと。海が大きくて青い、山はフラット。英語レッスンの日にたくさん英語を使って話したり、英語を書いたりしたのを難しいと感じなかったこと。大学生に聞いた所、オーストラリアと日本では求められるスキルが違うこと。日本が学歴重視なところがあるということとても驚いていました。長時間の移動も初めてだったので大変だったけど楽しかったこと。初対面の人とでも研修が始まって3日後には完全に仲良くなれたのが嬉しかったこと。



5 研修で学んだこと

私は今まで日本でさえ2週間も家から離れたことはなかったため、初めての長期の旅、しかも海外という初めてだらけの旅に不安も抱えながらの出発でしたが、バスに乗ってからは楽しくワクワクした気持ちでの2週間、トラブルもあったけれど過ごすことができました。また、私は外に出るとご飯が食べられなくなったり、不安で体調を崩したりしがちな性格で最初はオーストラリアで何か困ることがあるだろうなと思っていました。しかし実際

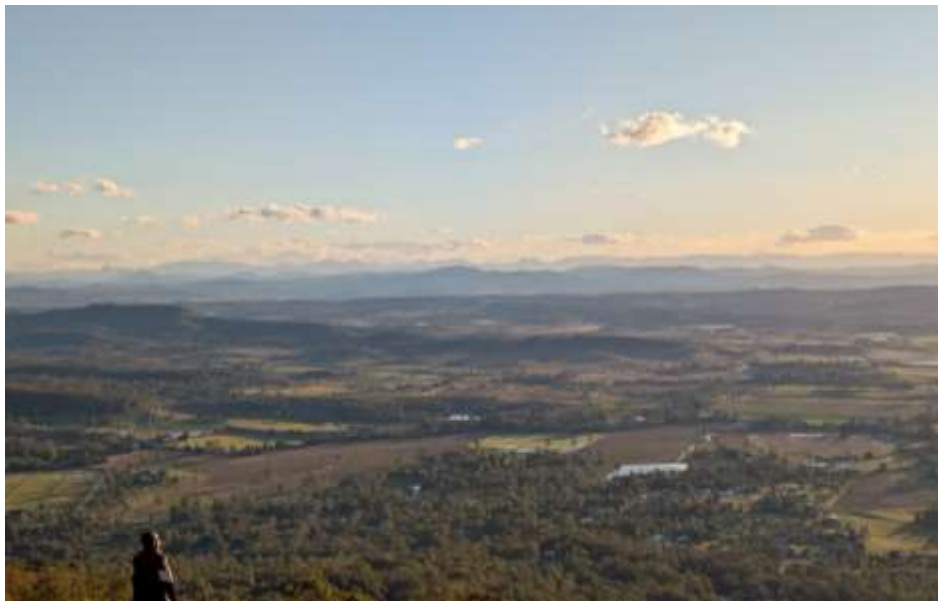


に行ってみると、自分の海外マインドが開花して何も不安はなく、家にもオーストラリアの環境にもすぐに馴染んで普通にご飯を食べたり元気に生活できたりして、自分でも驚いた一面を発見しました。また、長時間のフライトや海外を経験して、意外と世界って身近にあってその気になればたかさんの世界を見ることができることを知ったのが大きな発見でした。また、現地校のバディと話したときに、偏見や誤った情報を知らず知らずのうちに持っていることがあることがわかりました。そして、日本語の

情報は本当に限られていて、正しい情報を英語で取り入れられるような人になるためにも英語をもっともっと勉強したいと強く思うようになりました。今まで日本にいて、海外は怖い、日本は安全だと思っていました。もちろん、海外は怖い部分だってあるけど、絶対にそれ以上に面白くて学びがいのある世界だとわかり、日本の良い点・良くない点も海外に出て改めて感じ取りました。日本の学校で学ぶ歴史は苦手だけど、ほんの少しでも知識として蓄えておけば助かるなと思いました。海外に初めて来て、世界って本当に面白いと知って、怖がらずどんどん外に出てみたいと思えるようになったのが大きな学びと成長でした。

6 まとめ

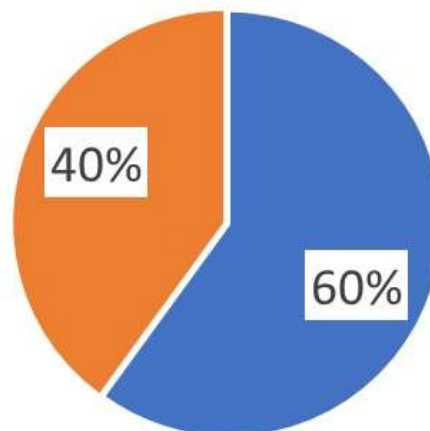
今までぼんやり、迷いながらも何も決まらずに焦っていましたが、この研修に参加して、大学でどう学んでいくか、これからどう生きていくかのビジョンが見え始めました。オーストラリアの温かい人達や大自然に触れたこの思い出を自分の宝としてこれからも特に英語の勉強に励みます。来年度の応募者に向けて最初から相談できる仲間と海外に行けるという経験はなかなかないですし、特に海外が初めてな人は参加して損はないです。まだ経験前なのが本当に羨ましいです。迷うなら行くべきですし、参加する際は目的意識を持って準備をしましょう。必ず得られるものがあるはずです。



ISA アンケート結果

全体的に見て今回の
プログラムは
満足できましたか？

- 非常に満足
- 満足
- 期待したほどではない
- 不満足



「非常に満足」理由

交流できた現地の人々がみんな温かかったし優しかった
 今まで私は日本から出たくないという意思がありました。しかし初めて海外に行っ
 てホストファミリーと関わって私はもっと多くの外国人と関わりたいという新たな気
 持ちを掴むことが出来ました。私のホストファミリーはとても優しく愉快的な方々でし
 た。自分の英語力がないことをちゃんと理解してくれ、ゆっくり話してくれたりまた
 自分自身も聞き取れなくても相手の表情などからしっかり読み取ることをとても意識
 しました。最初の方はまったく英語が聞き取れなくても自分の英語力のなさにとても
 痛感しました。でも日が経つにつれて人ともっとコミュニケーションをとりたと思
 うようになり、聞き取れなかったり、喋れなくても恥ずかしいと思うことがなくなり
 逆にもっと話したいと思うようになりました。この研修の経験で私はもっと多くの外
 国で多くの人と学びたいという新たな目標が出来ました。自分自身まだまだ英語は
 まったくできなく研修期間も2週間なので英語力が爆発的に伸びることはありません。
 しかし私にとっては自分に新たなものをくれる大きな2週間であり、それを与えてく
 れたガイドティーチャーやホストファミリーの方々には感謝しかありません。これか
 らも私は自分の英語力を高めるために頑張りたいと思います。

今まで海外に行ったことがなくとても不安ななか参加したが色んな経験ができ、成長
 できたと思ったから。特にホームステイはとてもいい経験になりました。

とにかく楽しかったまず海外に行くのが初めてだったから不安もかなりあったけど、
 初めてがこの留学でよかったと本当に思った。

host familyにすごく恵まれ、毎日笑顔が絶えない生活ができたし、オーストラリアの
 色んなことが知れてとても知識が増え、英語が楽しいと思えるようになったから
 楽しかったから

ホームステイ先でおいしい食事を用意してもらったり、楽しい会話ができたから。

毎日楽しかった

文化の違いに触れて、今までにない経験ができたから。

「満足」理由

観光も交流もできたから

ほとんどトラブルもなく、ストレスもなく良い生活が送ることができたから。

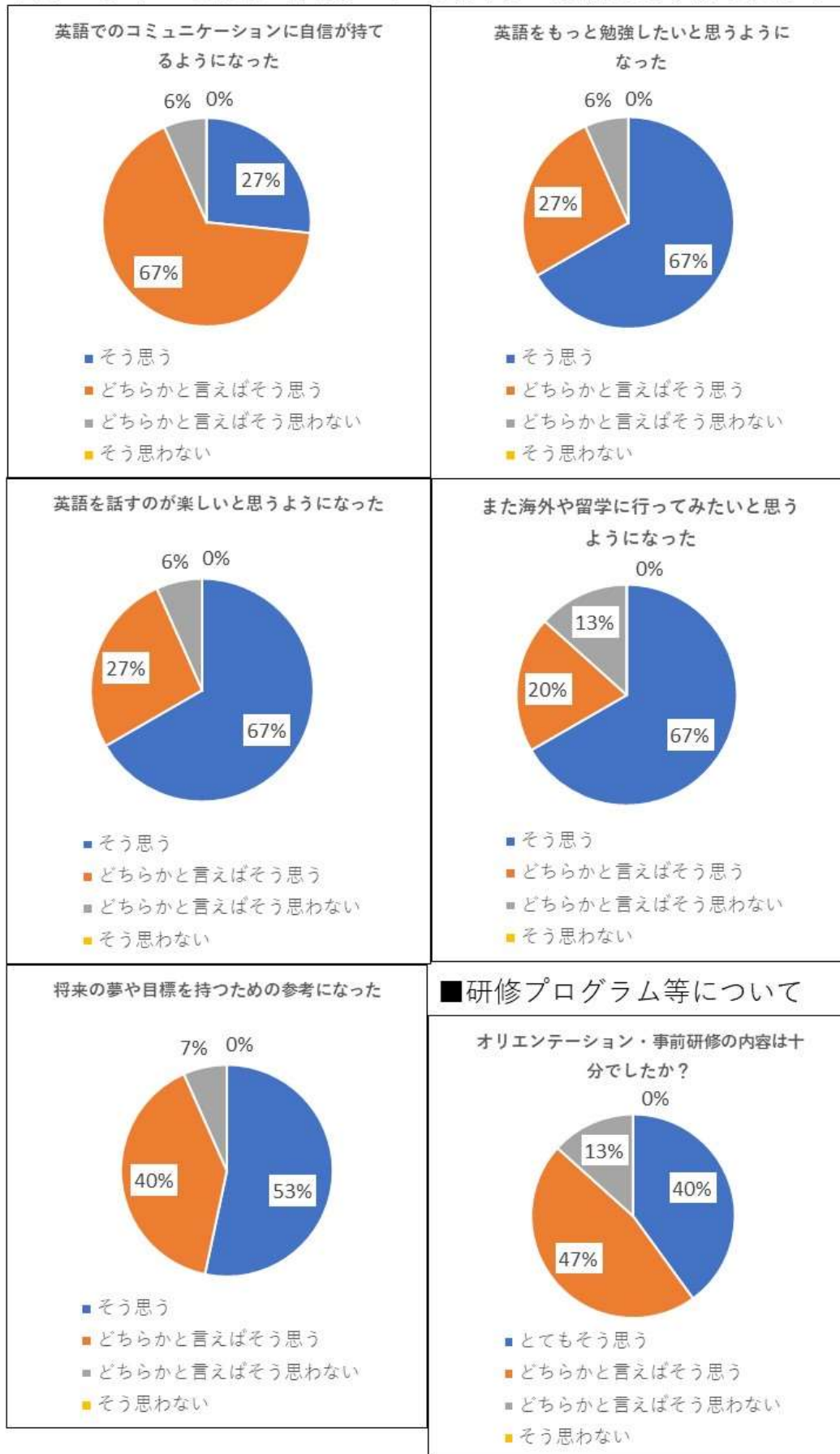
自分が想像していたくらいの経験をする事ができたから

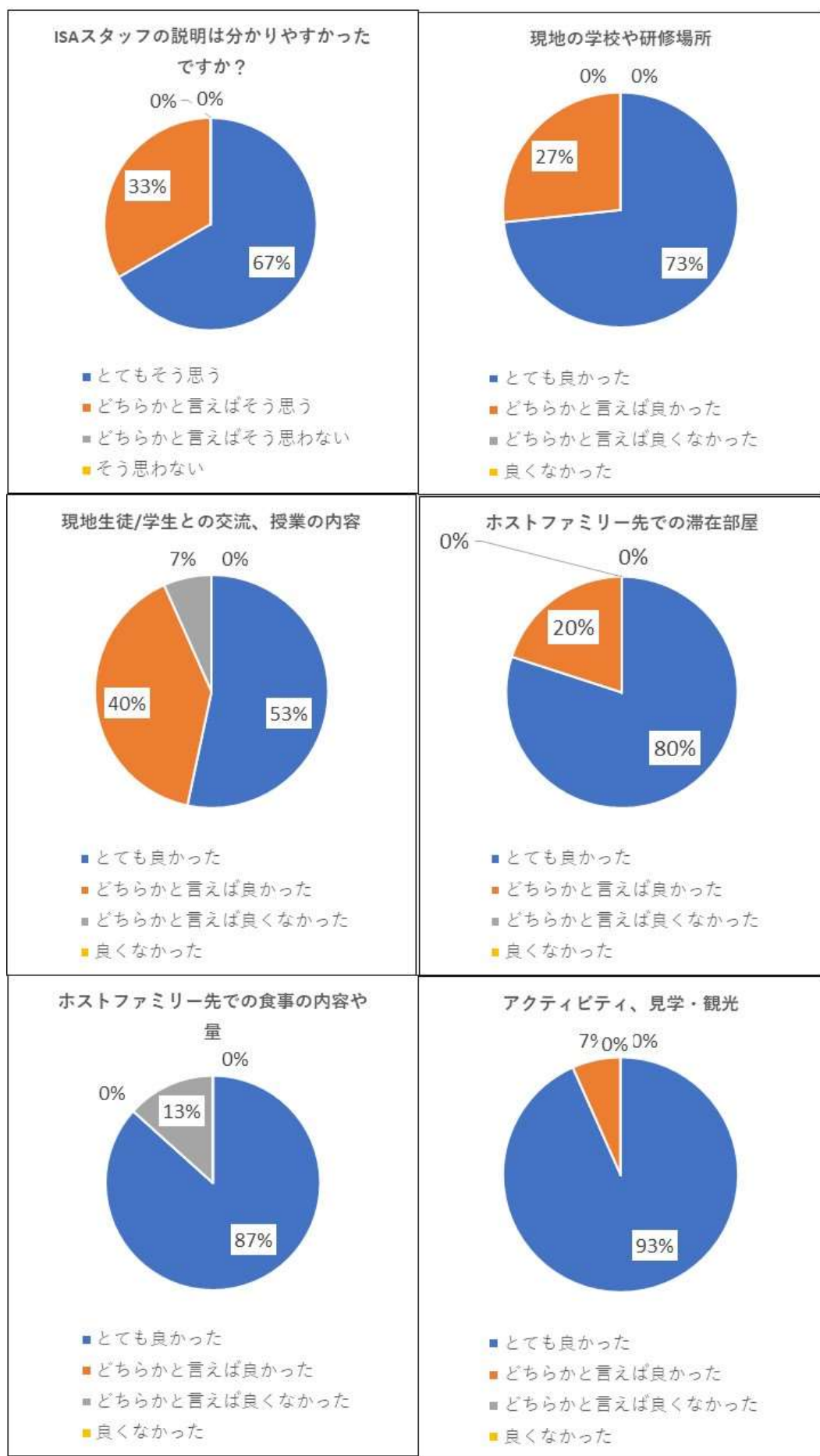
私にはホームステイ先の生活が少し合わなかったから

思ったよりハードスケジュールだったし、語学というより文化の勉強がほとんどだっ
 たから。

幅広い分野に触れられたから。プレゼンや学校訪問など、みんなが頑張れば何かを得
 られる内容だったから。

■プログラムを通して自身の中で気持ちの変化はありましたか？





■ 来年、海外研修に参加する生徒へのアドバイスやコメントはありますか？

コメント
まずは全力で楽しむこと、次に勉強で行くと楽しく過ごせる
英語力が無くても全然大丈夫だと思います。僕自身リスニングがまったくできなくてそれは研修にも響きました。しかしホストファミリーや現地の人々はゆっくり話してと伝えたらゆっくり話してくれるし、とにかく頑張ってやったら伝わることもあります。しっかり積極的に頑張ったら何とかなります。
今の時期のオーストラリアは冬だと聞いていて冬服をたくさん持っていったのですが、日本の冬の感覚とは全く違って昼間はとても暑かったので半袖を持っていたほうが良いと思います。
ホストファミリーにもよりますが、英語は案外話せなくてもゆっくり喋ってくれるので大丈夫!!! でも英語できた方が絶対楽しいだろうなって思うところがかかなりあったので、極めるならばリスニングをひたすらやっておけばいいかなって思います。
英語が苦手な人にはオールイングリッシュだから少し苦痛になるけどとにかくリスニングをしていると自然と内容も入ってくるからとりあえずリスニング力を鍛えて欲しい。内容を聞き取ることができれば単語で返したとしても伝わるので単語力も鍵になると思った。
とにかく荷物は計画的に詰めましょう。帰りの荷物で僕みたいにパンパンになると大変な事になります。また、正直なところですが、英語が苦手だなどと思う人でも全然大丈夫です。とりあえずチャレンジしてみたいかでしょうか。
アイロンやドライヤーがないことがあるので持ってっておくと安心 研修に行く前にできるだけ単語を覚えておくのと聞き取った時に話の内容を理解しやすいし、自分のことを伝えやすくなる 話すスピードがとても早いので動画などを見たりしてスピードに慣れておくといいかも 楽しいことばかりではないけど、その分自分が成長したなと感ずることがとても多かった自分からコミュニケーションを取ろうとすることが1番大切だと思う
クレジットカード(プリペイドカード)を持っていった方が良い。お金の計算をしないで済むから凄く楽。
財布の管理をしっかりする。持っていくお金を全て財布に入れておくと、スリに遭った時に貸してもらわなければならない。英語を喋るのに自信がなかったとしても、ホストファミリーはしっかり聞いてくれるし、あとから聞けばよかったと後悔してしまっても遅いからしっかり英語を話す! たくさん写真を撮る。撮りすぎくらい撮っていいと思う。
英語を勉強しておく
リスニング力を高める、単語を覚える、圧縮袋は多めの方がいい、洗面用具はなるべく使い切りがいい。
箱ティッシュはあったほうが絶対に良い。プリペイドカードとかクレジットカードも絶対に作っておいた方がいい。語学面では今まで勉強してきたものから新しく学ぶことはあまりなかったけど、自然と話せるようになるし、めっちゃ聞き取れるようになった。
しっかり準備をして、目的意識を持つこと。また、現地で何かを発見した時に後回しにせずにノートに記録すること。延長コードや小さなノートをいくつか、動物の毛をとるコロコロが役に立ちました。なんとかなるから頑張ってください。

■全体を通して最も印象に残っていることや学んだことは何ですか？

コメント
みんなで買い物を自由にしたり現地の人たちと話したり遊んだりしたこと
ホストファミリーと何気ない会話がとても楽しかった。ホストファミリーは日本語を教えてと言ってくる方々で教えるほうとしてもとても楽しかった
英語を話せるかとても不安だったが、現地の方はゆっくりと話してもしっかりと聞いてくれるので焦らないことが大切なことが分かった。また少しの文法の間違ひはあまり気にしないと現地の人から聞きました。なので自分の知っていることを使って頑張って会話できたのが嬉しかったです。
ベジマイトが食べれないほど不味いと思っていたら案外食べれないこともなくて驚いた。外国の小銭の使い方は使ってみたけどやっぱり苦手だ。
ホストファミリーがすごく親切で簡単な英語でこっちが伝わりやすいように話してくれて本当にたくさんのコミュニケーションがとれて毎日笑顔だったことが1番印象に残っています。家族の時間をとても大切にしていって1人ずつ同じ話題について話したり、毎日の夕食後UNOなど色んなボードゲームができ、私の憧れる家族像だなと思いました。お父さんの誕生日を祝えたり、サッカーの試合を見えたりなどホストファミリーによってみんなとは違う経験ができすごく良かったです。オーストラリアと日本では全然異なる文化や同じような文化もあるということを学んだ。また、オーストラリアはすごく多様性の国でとても印象が良かったので日本もオーストラリアみたいになって欲しいと思った。進路についても教育一択だった私が国際関係の職もいいなと思うようになったので海外に目を向けることはすごくいいことだと学びました。本当に本当に色々な人に感謝し、この経験をこれからに活かしたいと思いました。
オーストラリアと日本との文化の違い。特に日本のトイレがどんなに恵まれた物であるかを感じました。
オーストラリアの学校の制度？が日本と全然違うことに驚いた 意外と日本人の人を見かけること（旅行者や現地で働いていたたり大学に行っていたりする人）
ルームメイトが財布をなくしたこと
ホストマザーが用意してくれるランチに野菜と果物があって嬉しかった。英語レッスン中にアクティビティが入って楽しくみんなで遊ぶ時間があつたのが良かった。スーパーマーケットでたくさんのお菓子を買えたのが良かった。朝の登校中の車でたくさん英語を使ったことで、徐々に聞き取れる英文が多くなって嬉しかった。
ホストファミリーのお姉ちゃんとその友達と夜に爆音でドライブしながらアイスを食べに行った事がすごく楽しかった。
最も印象に残ったことはオーストラリアの学校のウィズダムカレッジに行ったことです。オーストラリアの文化などを学んだ。オーストラリアではモーニングティーと言う時が時間があつてお菓子を食べたりする時間がありました。自分達が行った学校にはサッカーコートとバスケットコートがあつて、モーニングティーの時間やお昼休みの時に、遊んだりします。一日中英語を聞く日だったのでとても疲れました。言語の壁をすごく感じた。自分の英語力の無さを実感した。
いろんな人が本当にフレンドリーで日本より話しかけやすくてすごく快適だった。現地の学校の生徒が使っているパソコンが日本より本格的だったこと。
ホームステイで、夜にホストファミリーとお話するのが楽しかった。また、ホストファミリーはやっぱり言えば理解してくれることが多いから怖がらずに早めに言うことでお互いの不信感をなくすことができる。最もよく学んだことはやっぱり相手を気遣いながらも自分が言いたいことは言うこと、聞くことだなと思った。現地校でイスラム教のバディーに宗教のことを聞いたら自分は間違った偏見も持ってしまうのだなと思った。また、財布はふとした時に無くなるがあるので、常に意識を向けること、また、もし無くした時の対策を考えておくこと。

■ もっとこうだったらよかったと思うことやプログラムの改善点がありますか？

コメント
日本から直でオーストラリアに行けたらよかった
現地の小学生と同じくらいの時間に帰れたらもっとホストファミリーとの時間があつたのかなって思いますがとても良かったです。
もう少しホストファミリーと過ごす時間が欲しかったです。
やはり2週間で英語能力を向上させるのは少し難しいかと思います。もう少し期間を長くしても良いかと個人的には思いました。
もう少し色々な種類があるお土産屋さんに行きたかった 冬だったからかもしれないけれど、海に入れたら楽しいだろうなと思った
オーストラリアに渡航する時に必要な入国カードの記入例があればよかった。出発日や日数など、個人や団体で異なることを書く所の記入例。または、みんなが集まってフリータイムの時に書く時間を作る。
なし
特になし。とても充実していました！
もっと楽しく文化を学びたかった。座学がしんどかった。
移動時間がどうしても長くなるのはわかるのですが、もっとホストファミリーという時間やアクティビティの時間が多かったら良かった。

